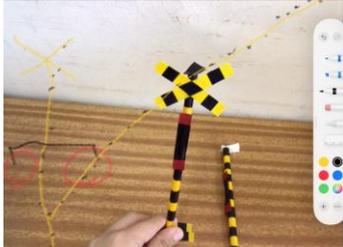


## 1人1台端末の活用による、日常生活の質を向上させる実践事例

学校名	岡山県立東備支援学校	指導者名	高取 蘭
実践場面 (教科名)	課題学習 (国語)	単元・題材名	「居住地の友達に自己紹介をしよう」
学習目標・ねらい	居住地校交流 (手紙のやりとり) に向けて、自己紹介カードを作ることができる。		
対象児童生徒 の 実態	知的障害部門 小学部 3年		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味をもった題材には黙々と取り組むことができる。</li> <li>・平仮名や片仮名をほぼ読むことができる。</li> <li>・平仮名を書くことができるが、苦手意識がある。</li> <li>・自分の写真や動画を見ることが好きである。</li> <li>・タブレット端末の使用に興味関心がある。</li> </ul>		
活用の概要			
<p>(0) 事前に、Word でタッチペンの練習に取り組んだ。 &lt;写真1：タッチペン練習&gt;</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">  <div style="text-align: left;"> <p style="color: blue; font-size: 1.2em;">たんじょうび</p> <p style="color: blue; font-size: 1.2em;">おめでとう</p> </div> </div> <p>(1) 好きな物や、好きなことに関する画像を教師が用意し、iPad に保存しておく。</p> <p>(2) 自分の作品をカメラアプリで撮影する。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">   </div> <p>(3) 自己紹介ワークシートにタッチペンで記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が Word でワークシートを作成する。</li> <li>・教師がワークシートをスクリーンショットで保存・分割し、設問ごとに提示できるようにする。</li> <li>・画像編集／描画機能を使って、児童がタッチペンで記入する。</li> <li>・教師がそれぞれの画像を1枚にまとめる。</li> </ul> <p>&lt;写真2：ワークシートを分割したもの&gt; &lt;写真3：児童がワークシートに記入したもの&gt;</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>わたしの なまえは</p> <div style="background-color: lightblue; height: 20px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: right;">です。</p> <p>とうびえんがっこう しょうがくぶ</p> <div style="background-color: lightblue; width: 20px; height: 15px; display: inline-block;"></div> <p>ねんせいです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>すきな たべものは</p> <div style="background-color: lightblue; padding: 2px;"> <p style="color: blue; font-size: 1.5em;">からあげ</p> </div> <p>です。</p> </div> </div> <p>(4) 挿入する画像を選び、タッチペンを使ってイラストや言葉を添える。</p> <p>&lt;写真4：児童が自分の好きなものを撮影し、イラストを添えたもの&gt;</p> <div style="text-align: center;">  </div>			
成果や活用の ポイント ・ 課題、改善点 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タッチペンの練習として、Word の描画モードで誕生日カードのメッセージを書く活動に取り組んだ。筆跡がキラキラとアニメーション付きで表示され、意欲的に取り組むことができた。</li> <li>・タッチペンを使うことで、色を選んだり、簡単に修正できたりと、書くことへのストレスが軽減され、楽しく取り組むことができた。</li> <li>・長期的な視点から、ICT 機器を含めて様々な表現手段の中から便利な手段を選択・使用できるように指導が必要である。</li> </ul>		